

CTL アプリケーションノート

CAN のデータが取得できない場合のチェックポイント

概要

本アプリケーションノートは、DR600CTL (AR-60CAN-G) で CAN メッセージが取得できない場合のチェックポイントについて記述しています。

通信速度（ボーレート）の確認



AR-60CAN-G に接続する CAN 機器の通信速度（ボーレート）に合わせ、AR-60CAN-G Setting ダイアログで設定します。

ACK の確認



接続する機器に合わせて ACK ON をチェックしてください。DR600CTL の場合、DBC ファイルの書き込み後、再度設定ダイアログを開いて設定してください。

デイシーの CU シリーズをご使用される場合、ACK ON にチェックが必要です。

車両 CAN など構築済みネットワークの信号を取得する場合は不要です。

ターミネータの確認

ボーレートが 125kbps 以上（High Speed CAN）の CAN バスラインは両端に終端が必要です。AR-60CAN-G は終端抵抗を内蔵していません（SR-200 は終端あり/なしを切り替え可能です）。

AR-60CAN-G と CAN 出力機器を接続する CAN バスの両端に終端抵抗（ターミネータ）があることをご確認ください。

DBC ファイルの確認

DBC ファイルで定義されている CAN ID、データフォーマット、ビット位置等が接続機器に対応しているかどうかご確認ください。

ケーブル長の確認

CAN バスラインのケーブル長が規格を逸脱していないかどうかご確認ください。

ケーブル長が長い場合、通信速度を低くすると通信が可能になる場合があります。

改定履歴

2020/8/20 Ver.1.00 初版